

令和3年度

学校評価

石見養護学校

令和3年度学校評価 年度末総括

○育てたい資質・能力の育成状況は？

1 粘り強く挑戦（やり遂げる力）

(学部) 評価B 有効度A …目標設定が適切で資質・能力の育成にほぼつながった

(分掌) 評価B 有効度B …目標設定がほぼ適切で資質・能力の育成につながった

↓

総合 B

(今後の方向性 児童生徒・保護者アンケート結果も踏まえて)

目標設定がほぼ適切であり、資質・能力の育成にもつなげることができた。今後も今年度同様の方向性で目標設定を設定をし、手立てを工夫しながら以下の点に考慮して取組を進めていきたい。

- ・実態に即した継続的な指導・支援 小中学部、寄宿舍
- ・わかりやすい授業づくり（学ぶ意味、授業展開） 高等部
- ・やり遂げる経験（自己肯定感、自己有用感） 高等部

2 共に学び合う（コミュニケーション力）

(学部) 評価B 有効度A …目標設定が適切で資質・能力の育成にほぼつながった

(分掌) 評価B 有効度B …目標設定がほぼ適切で資質・能力の育成につながった

↓

総合 B

(今後の方向性 児童生徒・保護者アンケート結果も踏まえて)

目標設定がほぼ適切であり、資質・能力の育成にもつなげることができた。今後も今年度同様の方向性で目標設定を設定をし、手立てを工夫しながら以下の点に考慮して取組を進めていきたい。

- ・コミュニケーション力の向上 小中学部、高等部

3 思いやり（豊かな心）

(学部) 評価B 有効度A …目標設定が適切で資質・能力の育成につながっていた

(分掌) 評価A 有効度B …目標設定がほぼ適切で資質・能力の育成につながった

↓

総合 B

(今後の方向性 児童生徒・保護者アンケート結果も踏まえて)

目標設定が適切であり、資質・能力の育成もはかることができた。今後も今年度同様の方向性の目標設定を設定をし、以下の点に考慮しながら取組を進めていきたい。

- ・様々な人との協働経験
- ・規範意識の高揚

評価基準に沿った達成状況

A=達成9割以上

B=7割以上9割未満

C=5割以上7割未満

D=5割未満

- 育てたい資質・能力
- 1 粘り強く挑戦（やり遂げる力）
 - 2 共に学び合う（コミュニケーション力）
 - 3 思いやり（豊かな心）

資質・能力の育成のために

評価基準に沿った達成状況
 A=達成9割以上、B=7割以上9割未満、
 C=5割以上7割未満、D=5割未満

目標設定の有効度
 A=有効だった、B=おおむね有効だった、C=あまり有効ではなかった、D=有効ではなかった

項目	目標	具体的方策（手立て）	R3年度 ○評価指標 ★規準	担当分掌	評価者	評価方法	評価	有効度	今後の展望（次年度の方向性）
粘り強く挑戦（やり遂げる力）	自分のすることや役割が分かったり、自分の目標に向かって努力したりすることを通して、最後までやり遂げる力をつける。	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の児童・生徒の実態を把握し、最後までやり遂げることができる学習内容を設定する。 ・授業時間ごとや学習の節目に振り返る機会を設定する。 	○児童・生徒の変容前・変容後の具体的な姿	小中学部	担任 学部全体	ワークシート みちしるべ	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・現在行っている支援を引き続き行っていく。 ・児童生徒が達成感を抱けるように工夫する。
	集団の一員としての役割や責任を知り、様々な体験（成功、失敗、挫折等）を、他者（教師、友達他）との関わりの中で乗り越えていく力をつける。	<ul style="list-style-type: none"> ・学部行事や学級活動等を行う中で、役割分担（一人一役）をして活動に取り組み、その都度振り返りを行う。 	○自分の役割を意識して取り組む姿が見られたか。	高等部	学部全体	学級経営案	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内での役割設定は意識して取り組めたが、どの学習にも取り組めるように、教科担当教員とも連携しながら対応していく。
	自分の課題に気づき、自分から克服しようと取り組む力をつける。	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の支援計画を作成し、課題を自分のこととして気づいたり、捉えたりできるように働きかける。 	○生徒一人一人が自分の課題に気づき、克服しようとして取り組むことができたか。	寄宿舎	指導員	生徒の変容	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・目標設定は有効であったので、来年度も継続して取り組む。
共に学び合う（コミュニケーション力）	自分の思いを伝えたり、他者の意見を聞いたりと通して、共に学び合おうとする態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒が自分の思いを伝えられるように、実態に応じた伝え方を考えたり、支援したりする。 ・自分の思いを聞いてもらえたと感じる機会を経験することで、話を聞くことの大切さへの気付きにつなげる。 ・話し合い活動等のグルーピングを工夫する。 	○児童・生徒の変容前・変容後の具体的な姿	小中学部	担任 学部全体	記録	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な教師との関わりを基盤にして、引き続き児童生徒の実態に応じた支援を行っていく。
	教師や仲間との信頼関係を基盤に、関わる人との伝え合い、学び合いから自分の思いや考えをまとめていく力をつける。	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科等や自立活動の時間を通して自分の気持ちを伝える場面を設定する。 	○自分の気持ちを伝える姿が見られたか。	高等部	学部全体	学級経営案	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・選択肢を提示したり、相手の思いを受け止めて行動できたときは賞賛したりするなど、授業・行事内容を工夫しながら不安解消のための取り組みを行う。
	自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを受け入れたりする力をつける。	<ul style="list-style-type: none"> ・舎生会や行事を通して話し合いの場面を設定する。 	○生徒が思いを伝えたり、相手の気持ちや思いを受け入れたりすることができたか。	寄宿舎	指導員 生徒	生徒の変容	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・目標設定は有効であったと思うので、手立てを工夫する必要がある。
思いやり（豊かな心）	周りの人からの関わりを受け止めたり、周りの友達のことを考えたりする経験を積み重ねることで、思いやりの心を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲の人からの関わりを受け止めることができるように、教師が気持ちを代弁したり、仲介したりする。 ・周りの友達のことを考えられるように、友達のがんばっているところや良かったところを伝え合う時間を設ける。 ・普段の関わりの中で周りの人を意識できるような状況をつくる。 	○児童・生徒の変容前・変容後の具体的な姿	小中学部	担任 学部全体	記録	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も学習のグルーピングを工夫しながら思いやりの心を育てる機会を設定していく。
	自分の強み（得意なこと）や弱み（苦手なこと）を知ること、相手の気持ちになって発言したり、行動したりできる力をつける。	<ul style="list-style-type: none"> ・現場実習や、交流学習を通して様々な人とふれあう機会の中で、場に応じたふるまいができる力をつける。 	○様々な場面の中で場に応じた言動ができたか。	高等部	学部全体	学級経営案	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が適切なふるまいを身につける学習と合わせて、関係外部機関と連携し、環境調整等をしていく。 ・自分のふるまいに気づけるような学習を取り入れて自己理解につなげていく。
	自分や友だちを知り、お互いの良いところを認め合う事で、思いやりの心を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・終礼のフリートークの時間を使い、自分の頑張った事と、友だちの良いところを発表する場面を設定する。 	○生徒一人一人が自分や友だちの良いところに気づくことができたか。	寄宿舎	指導員 生徒	生徒の変容	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、感謝の気持ちを言葉にして伝えられるように、機会を増やしていく。

○ 目標設定について

目標は、今年度重点をおいて押さえない資質・能力の育成のために何をするかを考えて設定する。

評価のスパンは、1年間で考える。

学部・寄宿舎については、各資質能力につき、1つの目標を目安に設定する。

分掌部については、各資質・能力につき、0～1の目標を目安に設定する。（寄宿舎の分掌Gについても同様）

○ 評価指標について

学部・寄宿舎においては、「具体的方策」の実施を指標にするのではなく、「児童生徒の変容」を指標にすることが望ましい。

分掌においては、「具体的方策」の実施が指標になっても良いが、方策の有効度が測れる指標にすることが望ましい。

○ 評価方法について

児童生徒の資質・能力の育成状況の把握につながる評価方法が望ましい。

○ その他

今年度重点をおいて押さえない資質・能力の育成に視点をおいて目標設定を行うが、この目標に掲げたことにだけ取り組むのではないことに留意する。

- 育てたい資質・能力
- 1 粘り強く挑戦（やり遂げる力）
 - 2 共に学び合う（コミュニケーション力）
 - 3 思いやり（豊かな心）

資質・能力の育成を支えるために

評価基準に沿った達成状況
 A=達成9割以上、B=7割以上9割未満、
 C=5割以上7割未満、D=5割未満

目標設定の有効度
 A=有効だった、B=おおむね有効だった、C=あまり有効ではなかった、D=有効ではなかった

項目	目標	具体的方策（手立て）	R3年度 ○評価指標 ★規準	担当分掌	評価者	評価方法	評価	有効度	今後の展望（次年度の方向性）
粘り強く挑戦（やり遂げる力）	ICT機器の効果的な活用のための職員研修や情報提供を行う。	・機器の点検や整備を行ったり、使用のルールを定めたりして環境の整備を行う。 ・職員対象にミニ研修を行う。	○機器の点検★月1回 ○研修会（アンケート実施）★年2回 ○情報提供のメール配信（アンケート実施）★月1回	総務	教職員	アンケート	B	B	・次年度も引き続き研修等を計画する。 ・児童生徒向けの情報教育は他分掌と役割分担し行っていく。
	育てたい資質・能力を育成できる時間割、生活時程等になっているか再確認し、よりよい教育課程を編成する。	・育てたい資質・能力の育成に向けて、現状の分析を行う。 ・授業研究を活用し日々の学習から教育課程見直しのヒントを考える。 ・新学習指導要領に沿ったよりよい教育課程を検討する。 ・新学習指導要領等への理解を深めるために教務たよりを年3回発行する。	○実施状況★R4教育課程 ○教務たより★年3回	教務	教務	実績	A	A	・生活時程と週時程を見直し、よりよい教育課程の編成ができた。 ・次年度から運用していく。
	キャリアパスポートの目的の理解と円滑な作成に向けて、情報発信を行う。	・職員会や学部会等での周知 ・保護者への説明等の実施	○教職員のキャリアパスポートへの理解が高まったか。 ★80% ○保護者への説明実施回数。 ★年1回以上	進路 教務	教職員	アンケート 実績	B	B	・教職員アンケート結果では、理解度が93.1%であるが、保護者説明が未実施である。 ・次年度に向けても継続して周知していく。
	校内研究を通して、学びの図と関連した授業実践で児童生徒が「できる・わかる」「学び合う」授業改善を行う。	・単元構成シートを元に、研究グループ会や研究協議会等で単元構成や評価を行い、授業改善を進める。	○研究の取組の成果が育てたい資質・能力につながる児童生徒の変容が見られたか。また、研究グループ会や研究協議会が授業改善につながったか。 ★実践集録にて	研究 教務	研究部 教務部	実践集録	A	B	・研究グループで授業改善を進め、生徒の成長につながった。 ・次年度は成果を各学級で汎用していくための取組を行う。
	将来の生活にむけて、日々の生活における健康管理の大切さを伝える。	・食育に関する勉強会や食事メニュー作成を計画・実施する ・保健衛生に関する勉強会の実施	○各種勉強会等を実施した後、振り返りを行う。また、舎生の日々の生活の言動に変容が見られたか。	舎務 保健食事G	指導員	生徒の変容	B	A	・メニュー作成に関する取組を通し、食事に関心を持つことができたので、継続していく。 ・間食を含め、食生活が気になる生徒に向けた勉強会を計画する必要性があると感じた。
項目	目標	具体的方策（手立て）	R3年度 ○評価指標 ★規準	担当分掌	評価者	評価方法	評価	有効度	今後の展望（次年度の方向性）
共に学び合う（コミュニケーション力）	地域との連携及び本校の教育の理解を推進するためにHP等を活用した情報発信を行う。	・毎月保護者へのHPのお知らせをする。 ・総務から各担当者へ更新の連絡をする。 ・いろいろな機会をつかって地域へHPの宣伝をしたりチラシ等にQRコードを張りつけたりする。	○内容について教職員・保護者等へアンケートを実施★学期に1回	総務	教職員 保護者	アンケート	A	B	・どのくらいの人が閲覧しているかは不明である。 ・次年度も積極的な更新になるよう声をかけていく。
	自他に関心をもち、認め合い、協力し合う児童生徒を育成する。	・仲間と協力し合ったり、自己有用感や達成感を味わうことができるよう、学校行事や全校レク(3回/年) 縦割り活動(2回/年)等を実施する。	○実施状況 ★全て実施したか	子ども	教職員	様子観察 アンケート 等	A	A	・児童生徒の実態に合わせ内容を工夫しながら、継続して実施していく。
	卒業後の生活を見据えて、出身地域の関係機関や就労先（企業、福祉施設）等に、本校の教育活動について理解啓発を図る。	・学校見学会の実施	○学校見学会の実施回数 ★年1回	進路	進路	実績	A	B	・次年度においても継続して実施する。
	授業づくりおよび児童・生徒理解に関する研修を設定し、地域の学校や施設等と共に学び合う機会を持つ。	・子ども支援部、総務部等と連携し子どもの理解や障害についての理解啓発の輪を広げる場づくりと今後の取組のあり方を検討する。	○参加者にとって研修内容が子ども理解や対応、授業実践に活かされると感じた割合 ★70% ○次年度の計画と役割分担を検討する。 ★計画案の是非	研究 (子ども)	教職員	アンケート	B	B	・子ども支援部と連携して研修を企画した点は業務の効率化に有効だった。 ・各研修のアンケート結果は概ね満足いく結果である。 ・地域への連携や還元は今後も課題である。
	人権意識・感覚を養うよりよい実践になるよう雰囲気を高めていく。	・各学級が学習活動を計画、実践できるように相談や支援を行う。	○各学級の目標に合った授業づくりへの助言を行う。 ★実施したか	人権教育推進委	人権教育推進委	実績	B	B	・学校行事や児童生徒会活動等も含めて実践していく。 ・関連する授業公開を可能な範囲で行う。
	児童生徒が安全・安心に学ぶことができる環境を整備する。	・巡回点検や教職員からの要望等により、施設・設備に係る改善事項を把握し対処する。	○改善事項に対する対応件数の割合 ★80%	事務	事務	実績	A	A	・施設・設備で改善が必要な事項はほぼ対処できた。 ・次年度も予算状況を見ながら計画的に対処し、安全・安心な環境を整備していく。
	寄宿舎研究を通して、生徒のコミュニケーション力の育成につながる取組を行う。	・舎生が意見や気持ちを伝え合いながら、協働することができるような環境づくり（場面設定や人的支援）の検討・実践・評価を行う。	○取組の成果として、コミュニケーション力の育成につながる取組であったか、及び舎生の変容が見られたか。 ★実践集録作成	舎務 研究G	指導員	アンケート 実績	A	A	・定期的なレクリエーションを設定し、様々な環境づくりを積み重ねたことは有効だった。 ・舎生同士の関わり方に変化が見られた。 ・次年度も舎生の実態に応じて、めざす姿に向けた取組を行っていく。
食事マナーの大切さを知ることを通して、社会性を育てる。	食事マナーの勉強会を実施する。	○勉強会と振り返りを定期的に行い、舎生の変容を見る。	舎務 保健食事G	指導員	生徒の変容 アンケート	C	B	・勉強会の実施回数が足りなかった。 ・黙食の中でも行える指導方法を今後も工夫していく。	

項目	目標	具体的方策（手立て）	R3年度 ○評価指標 ★規準	担当分掌	評価者	評価方法	評価	有効度	今後の展望（次年度の方向性）
思いやり（豊かな心）	児童生徒が災害時の安全を考えた行動ができるための防災教育の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 体験的な活動や訓練を設定する。 防災教育に関する教材等を担任へ提供する。 防災教育たよりを学校・保護者へ配布する。 教職員向けの研修会を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○体験型活動★年2回 ○防災教育たより発行★学期1回 ○研修会★年1回 	総務	教職員	実績アンケート	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒が自ら安全や避難について考える学習展開になるような訓練を計画する。 教材等の情報を適切に提供する。
	知的障がい特別支援学校の道徳教育の指導に対する教職員の資質・能力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うために、教職員研修を実施する 道徳週間を実施し、道徳の目標や指導方法について理解を広げる。 学級での実践や公開授業の内容を、校内で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○研修会実施 ★理解アンケート ○教職員の資質向上★教職員の変容 	教務	教職員	アンケート	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の資質・能力の向上ができた。 教職員の理解を深めるために次年度も研修会を実施する。
	安心して学校生活を送ることができる環境作りに努め、児童生徒のよりよいふるまいを促進する。	<ul style="list-style-type: none"> いじめや問題行動の未然防止を行うために、いじめに関する教職員研修や、児童生徒会活動における「あいさつ運動」、よりよいふるまいを引き出すための「すて木」等の取組を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○実施状況 ★全て実施したか 	子ども	子ども	様子観察 実施状況等	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ふるまい向上に向けた取組を促進する。 働きかけや実施方法を継続的に工夫する。
	児童生徒が健康に過ごし、安心して学校生活を送るための保健指導の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 保健指導の充実を図るため、性に関する指導の全体計画の作成や指導内容の見直しを行う。 健康な生活が送れるように、保健指導（基本的生活習慣・心身の健康・感染症等）に関する情報を保健便りや食育便り、掲示等で発信する。 利用しやすい保健室を目指し、保健室利用のルールや環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○性に関する指導の全体計画の作成や指導内容の見直しが行われたか。 ○保健便りや食育便り、掲示等により健康に関する情報を発信することができたか。 ○利用しやすい保健室になっていたか。 	保健	教職員	実績アンケート	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 保健指導のための指導内容等の見直しや健康に関する情報発信を行うことができた。 引き続き情報発信を行うとともに、学級・学部等と連携を取りながら保健指導の充実を図っていく。
	人権に関する知的理解を進める情報の発信に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 人権に関する情報の回覧や通信の発行。 人権週間に向けての啓発活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○教職員、保護者への人権教育通信の発行 ★3回 ○人権週間に向けて意識を高める呼びかけ ★実施したか 	人権教育推進委	人権教育推進委	実績	B	A	<ul style="list-style-type: none"> 様々な人権課題にふれ、知的側面が更新するよう情報発信していく。
	避難訓練を通して、舎生が日頃から防災意識を持つことができるような取り組みを計画し進める。	<ul style="list-style-type: none"> 年7回の避難訓練や学習会で異なる災害や時間帯等設定し計画及び実施する。 勉強会で動画をみて話し合う場を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○避難訓練を通して生徒が防災について興味関心をもったか。 	舎務 総務G	指導員	生徒の変容	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 来年度も今年度と同様に目標を設定する。 より防災に興味関心を持てるような手立てを考える。
自分の役割に責任をもって活動し、過ごしやすい寄宿舎になるように協働する力を育む。	<ul style="list-style-type: none"> 舎生会活動の中で一人一役を決める。 棟目標を設定し、達成できるよう話し合いの場を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○アンケートを実施し、どのように活動できたかの振り返りを行う。 	舎務 子ども支援G	指導員	アンケート	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 目標設定は有効であったと思う 次年度は手立ての工夫が必要である。 	

令和3年度 学校評価（児童生徒アンケートから）

○小学部（4名中3名回答）

学校生活の課題

- ・おおむね安定して過ごしている。

重点目標の到達度

- 1 学習に主体的に向かい、あきらめないで最後まで取り組む強い意思と態度を育てる。
 - ・おおむね良い。
- 2 教育活動全体を通じて、思考力・判断力・表現力・コミュニケーション力を育てる。
 - ・おおむね良い。
- 3 「ひと・もの・こと」の出会いを通して、思いやりの心や豊かな感性を育てる。
 - ・おおむね良い。

今後の取組

実態に即した継続的な指導・支援

○中学部（2名中2名回答）

学校生活の課題

- ・安定して過ごしている。

重点目標の到達度

- 1 学習に主体的に向かい、あきらめないで最後まで取り組む強い意思と態度を育てる。
 - ・おおむね良い。
- 2 教育活動全体を通じて、思考力・判断力・表現力・コミュニケーション力を育てる。
 - ・おおむね良い。
- 3 「ひと・もの・こと」の出会いを通して、思いやりの心や豊かな感性を育てる。
 - ・おおむね良い。

今後の取組

実態に即した継続的な指導・支援

○高等部（23名中22名回答）

学校生活の課題

- ・授業のわかりやすさ ・学習が合っていないのではという思い。
- ・自己表現

重点目標の到達度

- 1 学習に主体的に向かい、あきらめないで最後まで取り組む強い意思と態度を育てる。
 - ・最後まで取り組む強い意志に低下傾向が見られる。
- 2 教育活動全体を通じて、思考力・判断力・表現力・コミュニケーション力を育てる。
 - ・コミュニケーション面に課題がある。
- 3 「ひと・もの・こと」の出会いを通して、思いやりの心や豊かな感性を育てる。
 - ・思いやりの面に課題が見られる。

今後の取組

わかりやすい授業づくり（学ぶ意味、展開）
やり遂げる経験（自己肯定感、自己有用感）
コミュニケーション力の向上
様々な人との協働経験

○寄宿舍（8名中8名回答）

寄宿舍生活の課題

- ・規範意識の低下傾向
- ・病気等への対応の低下傾向

今後の取組

規範意識の高揚
実態に即した病気等への対応の工夫

【評価の仕方】（○：そうおもう ×：そうではない ?：わからない のどれかに○をしてください）

	しつもん	○	×	?
1	がっこうは たのしいですか。	100.0%	0.0%	0.0%
2	すきな ベんきょうは なんですか。	音楽2 国語1 自立1	体育2 生単1	算数2 図工1
3	(がっきの) じぶんのもくひょうが まもれましたか。	100.0%	0.0%	0.0%
4	じどうせいとかいのかつどうで、みんなといっしょに たのしくか つどうできましたか。(ぜんこうレク)	100.0%	0.0%	0.0%
5	たのしかったことは なんですか。	かくれんぼ、しっぽとり		
6	いわみひがししょうがっこうとの こうりゅうは たのしかったで すか。	100.0%	0.0%	0.0%
	※したひとだけ しょうがっこうとの こうりゅうは たのしかったですか。	100.0%	0.0%	0.0%
7	おもったことを はっぴょうすることが できましたか。	66.7%	0.0%	33.3%
8	じぶんから あいさつができましたか。	66.7%	0.0%	33.3%
9	せんせいは あいさつをしていますか。	66.7%	0.0%	33.3%
10	ともだちと なかよくしていますか。	100.0%	0.0%	0.0%
11	こまったときに せんせいたちは はなしをきいてくれますか。	66.7%	0.0%	33.3%
12	けがやびょうきするとき ほけんしつは つかいやすいですか。	100.0%	0.0%	0.0%
13	としょかんで ほんを よむことは すきですか。	100.0%	0.0%	0.0%
いけん				

令和3年度 学校目標について

小学部在籍4名 回答3名 回収率75%

「じりつ」「きょうどう」「こうけん」についてききます。

【評価の仕方】（○：そう思う ×：そうではない ?：わからない のどれかに○をしてください）

	しつもん	○	×	?
1	にがてなべんきょうもがんばりましたか。	100.0%	0.0%	0.0%
2	ともだちにじぶんのいけんをいうことができましたか。	66.7%	0.0%	33.3%
3	じぶんのきもちをせんせいにいうことができましたか。	66.7%	0.0%	33.3%
4	みんなとなかよくかつどうすることができましたか。	100.0%	0.0%	0.0%
5	ていねいなことばでおはなしができましたか。	66.7%	0.0%	33.3%
6	ともだちやおうちのひとにやさしくできましたか。	66.7%	0.0%	33.3%

令和3年度 学校評価（生徒用）中学部在籍2名 回答2名 回答率100%

【評価の仕方】（○：そう思う ×：そうではない ?：わからない のどれかに○をしてください）

	評価項目	○	×	?
1	石見養護学校に来て良かったと思いますか。	50.0%	0.0%	50.0%
2	1学期、2学期の自分の目標が守れましたか。	50.0%	0.0%	50.0%
3	授業はわかりやすいですか。	50.0%	0.0%	50.0%
4	石見養護学校の勉強は、自分に合っていますか。	50.0%	0.0%	50.0%
5	勉強のときや休み時間に、自分の考えを伝えることができましたか。	50.0%	0.0%	50.0%
6	あなたは学校の決まりを守っていますか。	50.0%	0.0%	50.0%
7	現場実習（チャレンジ週間での職場体験学習）では、目標をもってがんばることができましたか。	50.0%	0.0%	50.0%
8	先生はだれもひいきすることなく、公平に接してくれますか。	50.0%	0.0%	50.0%
9	相手の気持ちを考えて、友だちとかかわることができましたか。	50.0%	0.0%	50.0%
10	自分からあいさつができましたか。	50.0%	0.0%	50.0%
11	先生たちはあいさつをしていますか。	50.0%	0.0%	50.0%
11	先生たちは悩みがあれば相談に乗ってくれますか。	50.0%	0.0%	50.0%
12	保健室は利用しやすいですか。	50.0%	0.0%	50.0%
13	図書館は利用しやすいですか。	50.0%	0.0%	50.0%
意見	□もっとこんなふうにしてほしいなどおもうこと、困っていることなど、伝えたいことがあれば、書いてください。			

令和3年度

学校目標について

中学部在籍2名

回答2名

回答率100%

「自立」「協働」「貢献」について聞きます。

【評価の仕方】（○：そう思う ×：そうではない ?：わからない のどれかに○をしてください）

	評価項目	○	×	?
1	苦手なことや興味がないことでも最後まで学習に取り組みましたか。	50.0%	0.0%	50.0%
2	人の考えに流されず、自分で考えて行動することができましたか。	50.0%	0.0%	50.0%
3	自分の考えや気持ちを正しい方法で伝えることができましたか。	50.0%	0.0%	50.0%
4	様々な人と一緒に協力をして活動することができましたか。	50.0%	0.0%	50.0%
5	正しい言葉遣いで話すことができましたか。	50.0%	0.0%	50.0%
6	周りの人に（友だちや家族、先生など）に優しく接することができましたか。	50.0%	0.0%	50.0%

令和3年度 学校評価（生徒用） 高等部在籍23名 回答22名 回答率96.7%

【評価の仕方】（○：そう思う ×：そうではない ?：わからない のどれかに○をしてください）

	評価項目	前年比	○	×	?
1	石見養護学校に来て良かったと思いますか。	↗	72.7%	9.1%	18.2%
2	1学期、2学期の自分の目標が守れましたか。	↗	81.8%	9.1%	9.1%
3	授業はわかりやすいですか。	↘	77.3%	4.5%	18.2%
4	石見養護学校の勉強は、自分に合っていますか。	↗	68.2%	13.6%	18.2%
5	勉強の時や休み時間に、自分の考えを伝えることができましたか。	↑	68.2%	13.6%	18.2%
6	あなたは学校の決まりを守っていますか。	↑	86.4%	0.0%	13.6%
7	現場実習（チャレンジ週間での職場体験学習）では、目標をもってがんばることができましたか。	↑	90.9%	4.5%	4.5%
8	先生はだれもひいきすることなく、公平に接してくれますか。	→	72.7%	9.1%	18.2%
9	相手の気持ちを考えて、友だちとかかわることができましたか。	↗	81.8%	4.5%	13.6%
10	自分からあいさつができましたか。	↑	81.8%	4.5%	13.6%
11	先生たちはあいさつをしていますか。	↑	90.9%	4.5%	4.5%
11	先生たちは悩みがあれば相談に乗ってくれますか。	↑	86.4%	0.0%	13.6%
12	保健室は利用しやすいですか。	↑	77.3%	4.5%	18.2%
13	図書館は利用しやすいですか。	↗	72.7%	13.6%	13.6%
意見					

令和3年度 学校目標について 高等部在籍23名 回収22名 回収率96.7%

「自立」「協働」「貢献」について聞きます。

【評価の仕方】（○：そう思う ×：そうではない ?：わからない のどれかに○をしてください）

	評価項目	前年比	○	×	?
1	苦手なことや興味がないことでも最後まで学習に取り組みましたか。	↘	72.7%	22.7%	4.5%
2	人の考えに流されず、自分で考えて行動することができましたか。	↑	77.3%	9.1%	13.6%
3	自分の考えや気持ちを正しい方法で伝えることができましたか。	↓	63.6%	22.7%	13.6%
4	様々な人と一緒に協力をして活動することができましたか。	↗	77.3%	13.6%	9.1%
5	正しい言葉遣いで話すことができましたか。	↗	77.3%	9.1%	13.6%
6	周りの人に（友だちや家族、先生など）に優しく接することができましたか。	↗	68.2%	13.6%	18.2%

令和3年度 学校評価（寄宿舍生徒用） 在籍8名 回答8名 回答率100%

【評価の仕方】（○：そう思う ×：そうではない ?：わからない のどれかに○

	評価項目	前年比	○	×	?
1	寄宿舍の生活は楽しいですか。	↑	75.0%	0.0%	25.0%
2	寄宿舍では、自分が決めた生活の目標を守れていますか。	↑	87.5%	0.0%	12.5%
3	寄宿舍の決まりを守っていますか。	↓	75.0%	25.0%	0.0%
4	寄宿舍では、友だちと仲良く生活していますか。	↗	87.5%	0.0%	12.5%
5	舎生会活動で意見を言ったり協力したりして、いろいろな友だちと活動することができましたか。	↑	75.0%	0.0%	25.0%
6	自分の意見や考えを先生や友だちに言えましたか。	↑	75.0%	0.0%	25.0%
7	寄宿舍であいさつができましたか。	↑	100.0%	0.0%	0.0%
8	先生たちはあいさつをしますか。	↑	100.0%	0.0%	0.0%
9	舎食はおいしくて食べやすいですか。	↗	100.0%	0.0%	0.0%
10	寄宿舍の先生は悩みや話を聞いてくれますか。	↑	100.0%	0.0%	0.0%
11	寄宿舍の先生はわかりやすく教えてくれたり助けたりしてくれますか	↑	100.0%	0.0%	0.0%
12	怪我や病気の時、対応してもらっていますか。	↘	87.5%	0.0%	12.5%

令和3年度 学校評価（保護者アンケートから）

○学校（28名中アンケート回答27名）

学校生活の課題

- ・コミュニケーション面に課題がある。

今後の取組

- コミュニケーション力の向上
- 様々な人との協働経験

○寄宿舍（8名中アンケート回答8名）

寄宿舍生活の課題

- ・安定して過ごしている。

今後の取組

- 実態に即した継続的な生活指導・支援

令和3年度 学校評価（保護者）アンケート集計

【評価の観点】（ A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：まったくあてはまらない E：分からない ）

学校目標	質 問	前年比	肯定的 (A,B)	否定的 (C,D)	わからない (E)
自立（やり遂げる力） 協働（コミュニケーション力） 貢献（豊かな心）	1 お子さんを本校に進学させてよかったと思いますか。	↑	89.3%	7.1%	3.6%
	2 本校は学校目標や、重点目標、個別の指導計画等をはっきり示していますか。	↑	92.9%	3.6%	3.6%
	3 たより、連絡帳、通知表、懇談等で、学校の様子をわかりやすく伝えていますか。	↑	92.9%	3.6%	3.6%
	4 現場実習（チャレンジ週間）等、進路に関する必要な情報が、お子さんや保護者に確実に伝わったと思いますか。	↑	89.3%	0.0%	10.7%
	5 本校の学習指導のあり方は適切だと思いますか。	↑	92.9%	3.6%	3.6%
	6 本校の生徒指導のあり方は適切だと思いますか。	↑	92.9%	3.6%	3.6%
	7 地域に積極的に出かけたり、学習の題材として地域のことを取り入れた学習を実施したりすることが、できていると思いますか。	↑	89.3%	3.6%	7.1%
	8 教職員はあいさつができていますか。	↑	92.9%	3.6%	3.6%
	9 お子さんは自分の思いや考えを、周囲へ伝えることができますか。	↘	64.3%	25.0%	10.7%
	10 教職員は、お子さんや保護者さんの思いをしっかりと聞いていると思いますか。	↑	96.4%	0.0%	3.6%
	11 図書館利用の取り組みの様子が伝わっていますか。	↑	75.0%	14.3%	10.7%
	12 お子さんの怪我、病気等の緊急時に、学校の対応は適切になされていますか。	↑	89.3%	7.1%	3.6%
	13 安全で安心できる学校になっていますか。	↑	89.3%	3.6%	7.1%
	14 お子さんが将来に向けて、自立する力を育む学習になっていますか。	↑	89.3%	3.6%	7.1%
	15 校内、保護者、地域、関係機関との連携・協力はなされていますか。	↑	85.7%	7.1%	7.1%

令和3年度 学校評価（寄宿舍保護者用）アンケート集計

【評価の観点】（ A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない D：まったくあてはまらない E：分からない ）

学校目標	質 問	前年比	肯定的 (A,B)	否定的 (C,D)	わからない (E)
自立（やり遂げる力）	1 お子さんを寄宿舍に入舎させてよかったと思いますか。	↑	100.0%	0.0%	0.0%
	2 お子さんは寄宿舍での生活に充実感や満足感をもっていると思いますか。	↗	87.5%	12.5%	0.0%
	3 寄宿舍は生活目標や指導計画をはっきり示していますか。	↑	100.0%	0.0%	0.0%
	4 通信、連絡帳、懇談等で寄宿舍での様子やお子さんの成長の様子が伝わっていますか。	↑	100.0%	0.0%	0.0%
協働（コミュニケーション力）	5 お子さんの将来に関わる生活に必要な情報が伝わっていますか。	↑	100.0%	0.0%	0.0%
	6 寄宿舍の生活、児童生徒指導のあり方は適切だと思いますか。	↑	87.5%	0.0%	12.5%
	7 行事等で、寄宿舍全体で協力して活動を実施していると思いますか。	↑	87.5%	0.0%	12.5%
	8 お子さんは自分の思いや考えを、周囲へ伝えることができますか。	→	75.0%	12.5%	12.5%
貢献（豊かな心）	9 寄宿舍の職員は、お子さんや保護者さんの思いをしっかりと聞いていますか。	→	87.5%	0.0%	12.5%
	10 お子さんは舎食をおいしく食べていると思いますか。	↑	100.0%	0.0%	0.0%
	11 お子さんの怪我、病気等の緊急時に、寄宿舍の対応は適切になされていますか。	↑	100.0%	0.0%	0.0%
	12 寄宿舍の職員はあいさつができていますか。	↑	100.0%	0.0%	0.0%